

平成30年度進捗評価シート
萩市歴史的風致維持向上計画（平成21年1月19日認定）
（最終変更平成28年3月15日）

□進捗評価シート(様式1)

①組織体制(様式1-1)	
1 計画の実施体制の一元化 市民団体との協働	1
②重点区域における良好な景観を形成する施策(様式1-2)	
1 歴史的町並みと調和した良好な景観の形成	2
③歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項(様式1-3)	
1 萩時代まつり	3
2 萩夏まつり	4
3 萩の和船大競漕「おしくらごう」	5
4 浜崎伝建おたから博物館	6
5 ワンコイントラスト(百円信託)運動	7
6 萩ものしり博士検定・子どもものしり博士検定	8
7 萩・万灯会	9
8 萩・大茶会	10
9 萩ものがたり出版事業	11
10 萩焼まつり	12
11 語り部活用事業	13
12 萩・幕末維新検定	14
13 萩まちじゅう博物館文化遺産活用事業	15
14 地域コミュニティ組織づくり事業	16
④文化財の保存又は活用に関する事項(様式1-4)	
1 文化財の保存・修理等に関する事項	17
2 文化財の普及・啓発等に関する事項	18
3 文化財施設等の活用に関する事項	19-20
⑤効果・影響等に関する報道(様式1-5)	
1 世界遺産5資産 萩市が修復計画 政府に提出 ほか	21-24
⑥その他(効果等)(様式1-6)	
1 歴史まちづくりの効果	25

□法定協議会等におけるコメントシート(様式2)	26
--------------------------------------	-----------

評価軸①-1
組織体制

		評価対象年度	平成30年度
項目		現在の状況	
計画の実施体制の一元化 市民団体との協働		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

計画に記載している内容 計画に定める事業等の実施及び計画変更については、市政全般の調整を行う総合政策部との連携のもと、歴史まちづくり部が中心となり、「NPO萩まちじゅう博物館」、「浜崎しっちょる会」、「NPO萩観光ガイド協会」などの民間団体等との協働により計画を推進していく。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

行政の組織体制においては、平成30年度にまちじゅう博物館推進部を改め、観光政策部を設置するなど、萩の歴史的風致を活かしたまちづくりを観光と連携して総合的に進める体制を強化した。民間団体の取り組みについては、萩市のまちづくりの基軸である「萩まちじゅう博物館」を推進する中核的団体であり、萩市歴史的風致維持向上支援法人である「NPO萩まちじゅう博物館」や重要伝統的建造物群保存地区の保存活用に取り組む「浜崎しっちょる会」、「萩往還佐々並どうしんてやろう会」、市内の文化財施設の管理やガイドを行っている「NPO萩観光ガイド協会」などが、それぞれの資源を活かしたまちづくりに取り組んでおり、これらの団体との協働により計画を推進している。

NPO萩まちじゅう博物館会員数 198人、NPO萩観光ガイド協会会員数 99人
 浜崎しっちょる会会員数 68人、萩往還佐々並どうしんてやろう会会員数121人

(平成31年3月現在)

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題(自由記述)

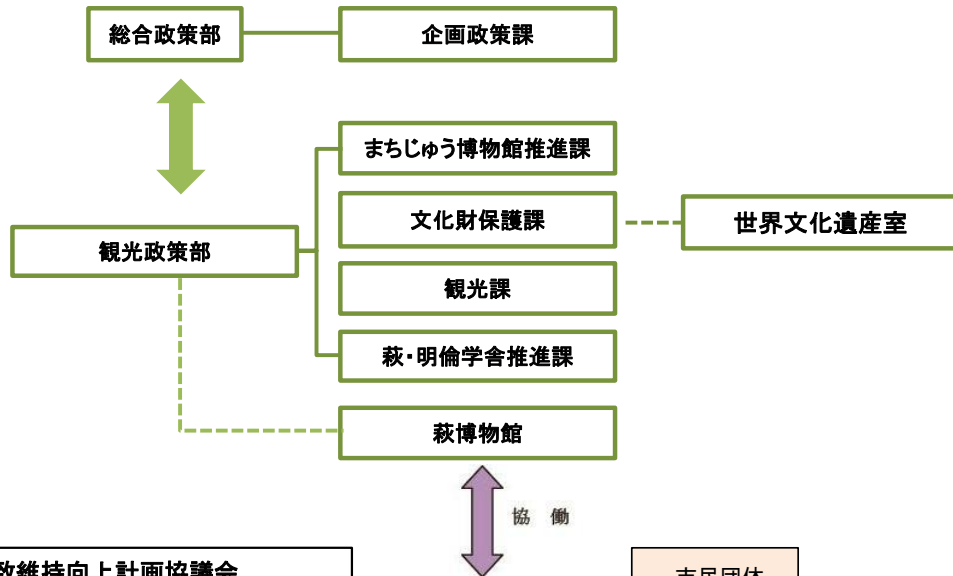
計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

計画変更、進行管理及び評価については、まちじゅう博物館推進課、事業実施については各事業担当課が行っているが、適正な計画の推進と事業実施を図るため、定期的な庁内担当者会議等の開催を検討する。

状況を示す写真や資料等

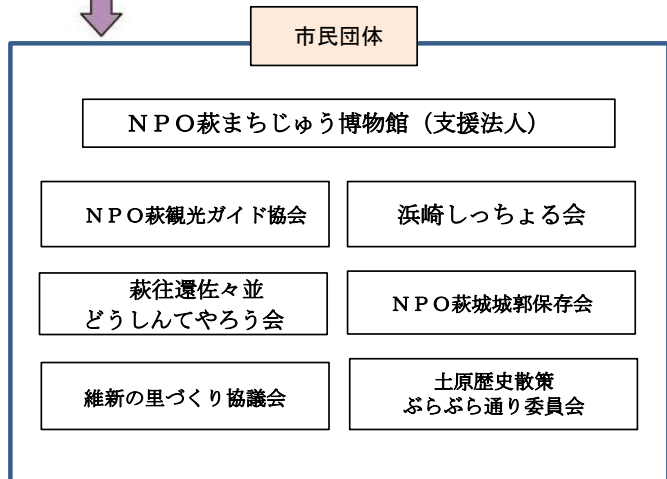
歴史まちづくり推進体制の確立

○平成30年度の推進体制



萩市歴史的風致維持向上計画協議会

- 開催日 平成30年11月8日
- 議題
 - ・萩市歴史的風致維持向上計画(第2期)(案)について
 - ・今後のスケジュールについて



評価軸②-1

重点区域における良好な景観を形成する施策

	評価対象年度	平成30年度
項目	現在の状況	
歴史的町並みと調和した良好な景観の形成	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

計画に記載している内容
 地区や地域を定めて指定している文化財の周辺部は未指定地域であることから、指定している地区や地域とは極端な景観の差が現れることになる。これを解消するために新築等に際しては、都市計画法及び建築基準法に基づく萩市の都市計画用途地域と景観法に基づく景観計画の重点景観計画区域の設定により規制誘導を行い良好な景観を確保するとともに、地区や地域の指定拡大や追加に努める。歴史的価値が特に高い建造物の周辺には緩衝地帯を設け、周辺環境の保全に努める。

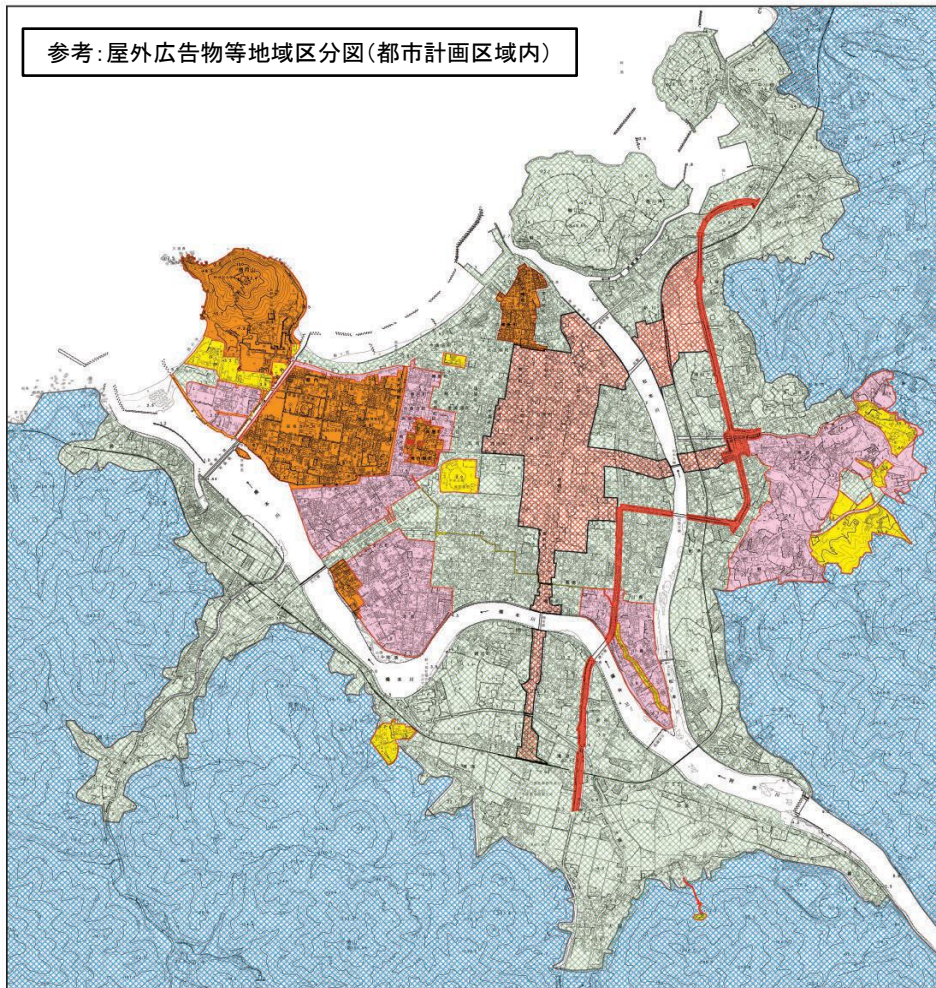
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

重点区域は、歴史的風致を色濃く残す萩市の中心市街地と重なる。現在、都市計画法に基づき、地域の歴史的特性に合った土地利用が図られるよう適切な用途地域の指定を行っている。また、景観法に基づき平成19年12月に運用を始めた萩市景観計画では、重点的に景観の形成及び保全を図る地域である重点景観計画区域の多くを重点区域内において指定し、地域の特性に応じて詳細な景観形成基準を定め、建築物の高さを制限するほか、良好な景観形成のための指導等を行っている。さらに、萩市屋外広告物等に関する条例では、重点景観計画区域については自家用広告物以外の広告物の掲出を原則禁止する禁止地域に指定するなど強い制限をかけ、屋外広告物掲出の誘導を行っている。このような施策を住民の理解を得ながら行っており、歴史的風致の維持及び向上に努めている。

○平成30年度 萩市景観計画区域内行為届受理件数 101件(平成31年3月31日現在)

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあつた課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	景観計画や屋外広告物等に関する条例による規制の理解を得ることに苦慮することがあるが、萩市の景観に対する取り組みを十分に説明し理解していただいた上で基準に適合させた、建築物・工作物等の新築等を行っていただくこととしている。

状況を示す写真や資料等



禁止地域		許可地域	
	第1種禁止地域		第1種許可地域
	第2種禁止地域		第2種許可地域
	第3種禁止地域		第3種許可地域
	第4種禁止地域		

※第3種許可地域は都市計画区域外を含む

評価軸③-1

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	平成30年度
項目	現在の状況	
萩時代まつり	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成7年度～

支援事業名 萩市単独事業

計画に記載している内容 萩時代まつりは、藩政時代を起源とする天神祭を核に行われる。毛利の伝統を受け継ぐ2つの奉納行列のほか、町内会による唐樋御神幣、川島聖講などが、萩市内を練り歩き、金谷神社に奉納される。舞台となる萩の町並みがまつりを盛り上げることに、萩市の歴史的風致の維持向上につながる。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

開催日時 平成30年11月11日(日)8時～16時
 入込数 57,000人(萩時代まつり、萩ふるさとまつり全体)

今年も秋晴れの下、多数の市民や観光客が詰め掛け、伝統の祭を満喫した。大名行列は例年通り金谷神社への奉納を行った。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等



「草履舞」奉納の様子



平安古備組「手廻り備え行列」



古萩大名行列

奉納行列等コース図

評価軸③-2

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	平成30年度
項目		現在の状況	
秋夏まつり		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 昭和38年度～

支援事業名 萩市単独事業

計画に記載している内容 藩政時代から続く、萩市浜崎伝統的建造物群保存地区に位置する住吉神社の祭りに併せて行う。祭りの核となるのが、萩藩の御座船唄であり、山口県無形民俗文化財に指定されている「お船謡」の奉納や「住吉神輿」の奉納である。藩政時代から今に継承される伝統行事を次世代に受け継ぐことにより、萩市の歴史的風致の維持向上に繋がる。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

開催日 平成30年8月1日(水)～3日(金)
 開催場所 萩市内各所
 入込数 124,000人
 ◆秋夏まつり主なスケジュール
 ○8月1日(水)20時～21時 「日本海大花火大会」
 ○8月2日(木)17時～23時 「市民総踊り(ヨイショコショ、トコトンヤレ節)ほか」
 ○8月3日(金)18時～23時 「お船謡、住吉御輿、踊り車ほか」

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

「お船謡」の様子



「住吉神輿」の様子



評価軸③-3

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	平成30年度
項目		現在の状況	
萩の和船大競漕「おしくらごう」		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	平成16年度～		
支援事業名	萩市単独事業		
計画に記載している内容	藩政時代より受け継がれる「おしくらごう」と呼ばれる和船競漕は、玉江浦地区巖島神社の例祭に合わせて行われる。伝統文化を継承していくことにより、歴史的風致の維持向上を図る。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
開催日時	平成30年6月3日(日)9時00分～		
開催場所	萩市橋本川下流		
入込数	15,000人		
「おしくらごう」は、以前は、海上で行われていたが、近年は橋本川下流に場所をかえ、多くの市民や観光客が観覧できるようになった。ねじりはちまき・下帯姿の若者たちが和船に乗り込み、掛け声をあわせて櫂を漕ぎ、銀色の波しぶきをあげ、往時を偲ばせる白熱したレースを繰り広げた。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない			

状況を示す写真や資料等

「おしくらごう」の様子



【イベントチラシ】

萩の和船大競漕
 2018 6月3日 9:00~13:00
 萩市玉江浦 (橋本川下流域河川敷)

スケジュール
 9:00 開会式
 9:30 中学生の部和船競漕
 10:30 一般の部和船競漕
 11:30 中学生・一般の部決勝
 12:00 玉江浦「おしくらごう」
 12:30 閉会式

会場
 橋本川、おしくらごう

同時開催
玉江浦ふるさとまつり
 8:30 船山車道中
 12:00 おしくらごう(常盤橋と玉江浦)
 13:30 アトラクション(カラオケ・舞踏)
 福引抽選会(午後2時~4時30分まで)
 15:50 子供大会(ブーム)
 16:30 もちまき

問い合わせ/山口県漁業協同組合玉江浦支店 ☎0838-25-1493

主催 ■萩の和船大競漕実行委員会
 共催 ■萩市、山口県漁業協同組合萩支部支店
 問い合わせ
萩市水産課 (萩の和船大競漕実行委員会) ☎0838-25-4195

評価軸③-4
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	平成30年度 現在の状況
浜崎伝建おたから博物館			<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
事業期間	平成10年度～		
支援事業名	萩市単独事業		
計画に記載している内容	江戸時代並びに明治、大正及び昭和初期の伝統的建造物が約130棟残る萩市浜崎重要伝統的建造物群保存地区を舞台に、家々に伝わる「おたから」を歴史的な建物内で展示・公開するとともに、萩の特産品販売なども行う。本事業を通じて歴史景観に対する意識の高揚を図ることにより、萩市の歴史的風致の維持向上を図る。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
開催日時	平成30年5月20日(日)9時～15時		
開催場所	萩市浜崎重要伝統的建造物群保存地区 入込数 9,000人		
浜崎地区のおたからを広く情報発信するため、地元の「浜崎しつちよる会」を中心に各種催事が行われている。今回は、奇兵隊による行列の開催や、伝建地区ミニツアー、新鮮な海の幸が味わえる市場食堂、国指定史跡旧萩藩御船倉での山梨大学邦楽部によるコンサートなどが行われた。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない			

状況を示す写真や資料等

「浜崎伝建おたから博物館」の様子



チラシ



山梨大学邦楽部コンサート



会場の様子



奇兵隊パレード



おたからの展示の一部



会場の様子

評価軸③-5

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	平成30年度
項目	現在の状況	
ワンコイントラスト(百円信託)運動	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成17年度～

支援事業名 萩市単独事業

計画に記載している内容 萩に残る未指定の文化遺産を保存、活用、継承するため、市内の文化財施設などにトラストボックス(寄付金箱)を設置し、ワンコイン(100円)のトラスト(信託)を求める。財政支援を得にくい未指定の文化遺産の保存を図ることにより、萩市の歴史的風致の維持向上を図る。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

トラストボックス設置箇所 10箇所
 ①道の駅「萩しーまーと」 ②萩博物館 ③道の駅萩往還内「松陰記念館」 ④旧山村家住宅 ⑤渡辺蒿蔵旧宅 ⑥有備館 ⑦玉木文之進旧宅 ⑧萩・明倫学舎 ⑨旧小林家住宅(萩往還おもてなし茶屋) ⑩大板山たたら館
 トラスト金額 累計31,252,176円 (平成31年3月31日現在)

本年度の信託金は、次年度以降の助成事業の実施に向け積み立てることとした。

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

■計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない
 文化遺産の保存のため、新たに整備された市内の施設などにトラストボックスの設置を検討する。

状況を示す写真や資料等

今までに修復などを行った萩の宝物

<p>いのうえまさる 第1号 井上勝旧宅門</p>  <p>修復後</p> <p>名 称：井上勝(秋道の父)旧宅門 物件の公開：萩市土庫2061 修復年月：平成18年4月</p>	<p>さるたひこめん だし 第2号 猿田彦面山車</p>  <p>修復後</p> <p>名 称：猿田彦面山車 物件の公開：住吉神社のお祭り 修復年月：平成18年10月</p>	<p>ひ や こ そなえぐみ 第3号 平安古備組道具類</p>  <p>修復後</p> <p>名 称：平安古備組道具類 *十字織や帯目付織など10点 物件の公開：萩時代まつりや萩博物館で 一般公開 修復年月：平成19年7月</p>
<p>お あ じ る くるま 第4号 御網代車</p>  <p>修復後</p> <p>名 称：御網代車 物件の公開：毎年11月に行われる会社天満宮祭礼の御神幸 神事で一般公開 修復年月：平成20年10月</p>	<p>ちやうしゅうほう 第5号 長州砲</p>  <p>英国より里帰りを実現</p> <p>名 称：長州砲(萩野法一貫自衛隊砲) 物件の公開：萩博物館で期間限定公開 重 量：約2.5トン 修復年月：平成20年8月から平成21年5月末日まで</p>	<p>いとうひろぶみ 第6号 伊藤博文公先祖の墓碑</p>  <p>修復後</p> <p>名 称：伊藤博文公先祖の墓碑 物件の公開：萩市中央公園にて常時公開 修復年月：平成21年9月</p>
<p>たかすぎしん さくりっし ぞう 第7号 高杉晋作立志像</p>  <p>銅像建立</p> <p>名 称：高杉晋作立志像 物件の公開：安芸萩城地下町 にて常時公開 建立年月：平成22年10月</p>	<p>き へい たい たい ふ く 第8号 奇兵隊隊服</p>  <p>奇兵隊隊服を再現</p> <p>名 称：奇兵隊隊服 物件の公開：萩時代まつりや 萩博物館で一般公開 完成披露：平成25年6月</p>	<p>く さがけん ずい しん けい ぞう 第9号 久坂玄瑞進撃像</p>  <p>銅像建立</p> <p>名 称：久坂玄瑞進撃像 物件の公開：萩市中央公園 にて常時公開 建立年月：平成27年1月</p>

第10号 井上勝志気像

銅像建立
 名 称：井上勝志気像
 物件の公開：萩駅前にて
 常時公開



評価軸③-6

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	平成30年度
		現在の状況	
萩ものしり博士検定・子どもものしり博士検定		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	平成17年度～		
支援事業名	萩市単独事業		
計画に記載している内容	萩ものしり博士検定では、萩の歴史、文化、自然にまつわるストーリーをクイズ形式で学ぶことのできるテキストを題材に試験を実施している。市民や観光客の参加により、萩市の歴史的風致を広く発信している。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
開催日時	平成30年12月4日(日) 10時30分～ ・萩ものしり博士(修士課程)45分間/テキストより100問出題 全問択一式 80問以上正解で合格 ・萩ものしり博士(博士課程)90分間/テキストより100問出題 記述式・択一式 80問以上正解で合格		
開催場所	萩博物館、萩セミナーハウス 平成21年度にテキストを改訂し、民俗、自然の情報を増やした。平成20年度から開催している「子どもものしり博士検定」については、平成24年度から市内の小学生は、各学校で受検する方式に変更し、平成30年度は計355名が受検した。また、検定実施日午後開催された、まちあるきガイドツアーイベントに受検者17名が参加した。		
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	来年度より内容をリニューアルし開催予定		

状況を示す写真や資料等

■萩ものしり博士検定 受検者・合格者数

修士課程				
年度	申込者数	受検者数	合格者数	合格率
H17	250人	234人	213人	91.0%
H18	115人	105人	94人	89.5%
H19	88人	74人	71人	95.9%
H20	81人	70人	56人	80.0%
H21	81人	76人	72人	94.7%
H22	70人	66人	61人	92.4%
H23	94人	89人	85人	95.5%
H24	97人	89人	83人	93.3%
H25	46人	44人	42人	95.5%
H26	55人	49人	46人	93.9%
H27	68人	65人	61人	93.8%
H28	68人	62人	56人	90.3%
H29	48人	42人	35人	83.3%
H30	54人	46人	41人	89.1%
合計	1,215人	1,111人	1,016人	91.4%

博士課程				
年度	申込者数	受検者数	合格者数	合格率
H18	136人	129人	23人	17.8%
H19	89人	81人	32人	39.5%
H20	59人	53人	20人	37.7%
H21	57人	52人	11人	21.2%
H22	39人	36人	11人	30.6%
H23	37人	34人	8人	23.5%
H24	41人	39人	10人	25.6%
H25	38人	33人	10人	30.3%
H26	18人	17人	2人	11.8%
H27	26人	23人	8人	34.8%
H28	32人	29人	9人	31.0%
H29	27人	24人	8人	33.3%
H30	37人	33人	6人	18.2%
合計	636人	583人	158人	27.1%

子どもものしり博士 (市内各小学校で受検)	
～H23	124人
H24	791人
H25	450人
H26	440人
H27	394人
H28	404人
H29	368人
H30	355人
合格者	3,326人

検定日当日の様子



まち歩きイベントの様子



検定テキスト
「萩ものしり博士」



子どもものしり博士検定
用テキスト(改訂版)
「萩ものしりブック」



評価軸③-7

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	平成30年度
項目	現在の状況	
萩・万灯会	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 昭和42年度～

支援事業名 萩市単独事業

計画に記載している内容 萩・万灯会は、萩藩主毛利家の菩提寺である大照院と東光寺(いずれも重要文化財)で開催される。萩藩主とその一族を弔うための伝統行事であり、本事業の開催によって萩市の歴史的風致を広く発信している。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

◆大照院<迎え火>
 開催日時 平成30年8月13日(月) 19時30分～22時(20時～墓前供養)
 入込数 6,800人
 ◆東光寺<送り火>
 開催日時 平成30年8月15日(水) 19時30分～22時

毛利氏の菩提を弔うため、石燈籠(大照院、約600基、東光寺、約500基)に入れられたろうそくの火が、幻想的な世界を作り出した。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

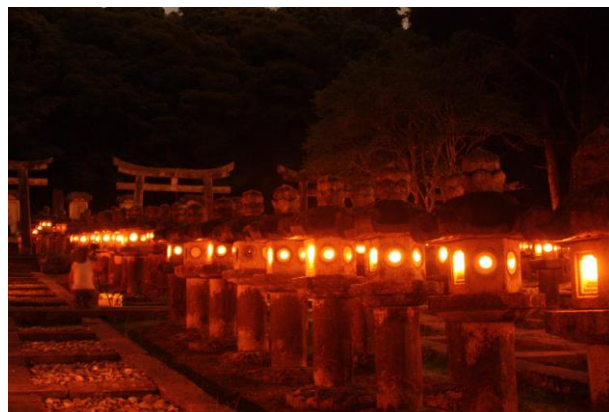
計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

「大照院」万灯会の様子



「東光寺」万灯会の様子



評価軸③-8

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	平成30年度
項目		現在の状況	
萩・大茶会		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成9年度～

支援事業名 萩市単独事業

計画に記載している内容 萩焼とともに歴史ある萩の茶の湯文化を紹介するイベント。史跡萩城跡を中心として開催する。萩市の歴史的風致を活用し、萩市の歴史と文化を広く発信している。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

開催日時 平成30年5月3日(木・祝)・4日(金・祝) 10時～15時
 入込数 13,100人
 市内4箇所て茶席を開催
 ①遠州流萩支部【旧厚狭毛利家萩屋敷長屋】
 ②表千家千萩会【花月楼(松陰神社内)】
 ③小堀遠州流萩支部【立志殿(松陰神社内)】
 ④裏千家淡交会萩支部【萩城跡指月公園内 花江茶亭】
 平成30年度は、松陰神社内の花月楼と立志殿を新たな会場とし、同じく神社内にある松下村塾との周遊を促進した。

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

【イベントチラシ】

「萩・大茶会」の様子



萩・大茶会

5月3日(木・祝)・4日(金・祝)
 午前10時～午後3時・雨天決行(3日午前9時30分～献茶式)

参加茶席：
 裏千家淡交会萩支部、遠州流萩支部、表千家千萩会、小堀遠州流萩支部、花月楼(松陰神社内)、立志殿(松陰神社内)

前売券/セット券(焼茶席) 2,000円 / セット券(焼茶二席) 1,100円
 当日券/一席券 800円

問い合わせ先：萩市観光課(平日のみ) ☎0838-25-3139
 (一)萩市観光協会 ☎0838-25-1750

世界遺産 松下村塾で抹茶を嗜む

日時 / 平成30年5月3日(木・祝) (11:00～11:30、13:00～13:30、14:00～14:30)
 内容 / 當日の特別講師を招き、お抹茶をいただきます。
 ※天候により、変更が生じる場合があります。
 参加料 / 3,000円(当日現金) ※別途券あり
 募集人数 / 1席あたり最大8名(応募多数の場合は抽選)
 ※事前にご応募され、当選された方のみ参加可能です。

評価軸③-9

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	平成30年度
項目		現在の状況	
萩ものがたり出版事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	平成16年度～		
支援事業名	萩市単独事業		
計画に記載している内容	萩にまつわる歴史、自然、民俗、芸術などの萩の物語(ストーリー)を、読み易いブックレット形式のシリーズとして出版、定期的に刊行する(年間4冊程度発行)。貴重な萩の情報を書籍出版することにより、萩市の歴史的風致を広く発信している。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
平成30年4月発行 ・萩ものがたり57号 「明治維新の変革過程」(広島大学名誉教授 三宅紹宣 著) ・萩ものがたり58号 「井上勝『長州ファイブ』から『鉄道の父』へ」(立教大学名誉教授 老川慶喜 著) 平成30年10月発行 ・萩ものがたり59号 「リーダーとしての伊藤博文」(京都大学名誉教授 伊藤之雄 著) ・萩ものがたり60号 「海外から見た幕末長州藩ーイギリスから見た下関戦争ー」(長崎大学准教授 田口由香 著) 平成16年度からの累計発行数60巻			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない			
状況を示す写真や資料等			
		平成30年4月発行 ・萩ものがたり57号 「明治維新の変革過程」 (広島大学名誉教授 三宅紹宣 著)	
		・萩ものがたり58号 「井上勝『長州ファイブ』から『鉄道の父』へ」 (立教大学名誉教授員 老川慶喜 著)	
		平成30年10月発行 ・萩ものがたり59号 「リーダーとしての伊藤博文」 (京都大学名誉教授 伊藤之雄 著)	
		・萩ものがたり60号 「海外から見た幕末長州藩ーイギリスから見た下関戦争ー」 (長崎大学准教授 田口由香 著)	

評価軸③-10 歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項		評価対象年度	平成30年度
項目		現在の状況	
萩焼まつり		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	平成3年度～		
支援事業名	萩市単独事業		
計画に記載している内容	本事業は、日本を代表する工芸品である萩焼を広く紹介するため、市内の窯元や販売店が一堂に集結して行う即売会である。萩焼作家の直接指導によるろくろ体験や特産品の販売も行う。本事業の開催で、萩焼が広く知られることになり、萩市の歴史的風致の情報発信を図る。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
開催日時	平成30年5月1日(火)～5日(祝・土) 9時～17時30分		
開催場所	萩市民体育館		
入込数	31,200人		
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・萩焼窯元等出店事業者 47社 ・ろくろ体験 ・萩焼を使ったテーブルコーディネート展 ・生け花展 ・萩焼抽選会 ・特産品の販売 		
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	萩の春のイベントとして定着しており、リピーターも見られるが、入客数や客単価向上に繋げるため新しい企画等を考案する必要がある。		
状況を示す写真や資料等			

「萩焼まつり」会場内の様子



【イベントチラシ】

評価軸③-11

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	平成30年度
項目	現在の状況	
語り部活用事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成24年度～

支援事業名 萩市単独事業

計画に記載している内容 文化財施設などで観光客等に、萩市の豊かな歴史、文化、自然等につつまれる物語(ストーリー)を語る「語り部」により、萩市の歴史的風致を活用するとともに、歴史や文化を広く全国発信する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

・平成30年の明治維新150年へ向けた関連事業として「萩・明治維新を学ぶ 萩の語り部歴史講座」を開催し、観光客等に萩物語を語り広める活動を行った。

【萩の語り部歴史講座①】

開催日時 平成30年10月16日(火)、11月7日(水)、11月8日(木)、11月13日(火)、11月14日(水)、11月20日(火)、11月22日(木)、11月26日(月)、11月27日(火)、11月28日(水)、11月29日(木)、11月30日(金)、12月1日(土)、12月5日(水)、12月6日(木)、12月10日(月)、12月11日(火)、12月12日(水)、12月14日(金)、12月14日(金)、12月17日(月)、12月18日(火)、12月19日(水)、12月23日(日)、12月25日(火)、12月27日(木)、1月7日(月)、1月13日(日)、1月18日(木)、1月21日(日)に開催

※平成30年10月～平成31年3月の間に30日、33回開催

開催場所 萩・明倫学舎(復元教室)

【萩の語り部歴史講座②(出前講座)】

開催日時 平成30年4月1日(日)、4月7日(土)、3月10日(土)、4月8日(日)、4月9日(月)、4月13日(金)、4月14日(土)、5月27日(日)、平成31年2月16日(土)、2月17日(日)に開催

開催場所 渡辺蒿蔵旧宅、平安古かいまがり交流館

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等

○萩の語り部歴史講座の様子①



○萩の語り部歴史講座の様子②(出前講座)



○萩の語り部歴史講座①

演題: 「鹿鳴館を造った男 井上馨ー青春編ー」「高杉晋作の死生観」「萩藩校明倫館について」ほか
 実施回数: 33回
 聴講者数: 1,073人

○萩の語り部歴史講座②(出前講座)

演題: 「毛利敬親の教育改革～藩校明倫館～」 「明治維新の三傑～木戸孝允(桂小五郎)～」 「維新の先駆者吉田松陰ほか」
 実施回数: 11回
 聴講者数: 306人

評価軸③-12
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	平成30年度
項目	現在の状況	
萩・幕末維新検定	<input checked="" type="checkbox"/> 実施済 <input type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成25年度～平成29年度

支援事業名 萩市単独事業

計画に記載している内容
萩・幕末維新検定は、平成30年の明治維新150年に向けた事業展開の一つとして、幕末・明治維新に特化し、萩ゆかりの人物や歴史などをクイズ形式により学びながら、近代日本の礎を築いた人物の関連遺産が数多く残る萩の魅力を再発見するとともに、明治維新胎動の地、萩の歴史的風致を広く情報発信することを目的に実施する。

開催日時：平成29年5月1日(月)から平成30年3月31日(土)

開催日時 平成30年2月18日(日) 10時00分から
開催場所 萩・明倫学舎、JAあぶらんど萩本所(旧萩藩校明倫館横)
内容

・検定時間／初級60分中・上級90分間／公式テキストから100問出題／択一式及び記述式 80問以上の正解で合格
・受検者特典／松下村塾コース／萩博物館コース／有備館コース
平成25年11月に公式問題集を発行。平成30年の明治維新150年に向けて毎年開催。平成27年度の第3回目からは、「初級・入門コース」を設けて3段階制とし、全国から広く受検者を募集している。平成28年10月には、公式問題集改訂版を発行し、第4回目から改訂版より出題。今年度の受検者数は206名で、主催の実行委員会では、今回の検定が最後の開催としている。
また、3コースの受検者特典には116名が参加した。県外からの受検者は東京都や埼玉県など首都圏や関西、中四国、九州、沖縄などから52名の参加があった。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	萩市の歴史的風致を広く情報発信するとともに県内外の受検者を開拓するため、新たな検定を検討する。

状況を示す写真や資料等

検定会場の様子(初級コース、上級コース)



受検者特典の様子(有備館コース)



○受検者数

年度	級別	申込者数	受検者数	合格者数	合格率
25	—	410人	353人	204人	57.8%
26	中級	189人	180人	88人	48.9%
	上級	104人	100人	49人	49.0%
27	初級	177人	156人	139人	89.1%
	中級	92人	82人	52人	63.4%
28	上級	82人	78人	34人	43.6%
	初級	182人	150人	126人	84.0%
29	中級	95人	87人	59人	67.8%
	上級	59人	57人	21人	36.8%
30	初級	87人	80人	60人	75.0%
	中級	34人	30人	15人	50.0%
	上級	103人	96人	46人	47.9%

○受検者内訳

年度	県内受検者	県外受検者	萩市内受検者	計
25	156人	41人	156人	353人
26	139人	52人	89人	280人
27	144人	49人	123人	316人
28	86人	47人	161人	294人
29	92人	52人	62人	206人



検定チラシ

評価軸③-13

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	平成30年度
項目	現在の状況	
萩まちじゅう博物館文化遺産活用事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成25年度～

支援事業名 文化遺産総合活用推進事業

計画に記載している内容 萩のまちのおたから(文化遺産)を守り育てながら、誇りをもって次世代に伝えていこうというまちづくりの取組みである「萩まちじゅう博物館」を一層推進するため、まちじゅうに広がるおたから(文化遺産)の調査・認定・公開を行う萩まちじゅう博物館文化遺産活用事業に市民と協働で取り組む。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

開催日時:平成30年5月1日(火)から平成31年3月31日(日)
 事業実施箇所:見島地区、玉江地区、山田地区、木間地区
 事業主体:萩まちじゅう博物館文化遺産活用事業実行委員会
 事業内容
 ・おたから(文化遺産)の調査・記録作成事業
 NPO萩まちじゅう博物館と地域の住民が協働で、おたから(文化遺産)を調査・記録した。(データ作成件数348件)
 ・おたから(文化遺産)認定事業
 文化財審議会委員、萩博物館学芸員等からなる「文化遺産認定委員会」を組織し、おたから(文化遺産)の認定審査を行った。(平成30年度に認定されたおたから(文化遺産)見島地区47枚、玉江地区29枚、山田・木間地区63枚)
 ・おたから(文化遺産)データベースの作成
 認定されたおたから(文化遺産)をデータベース化し、ホームページで公開するとともに報告会(おたから総会)を開催した。(参加者60名)
 ・おたから(文化遺産)普及啓発・育成事業
 事業実施地域などで交流イベントを開催するとともに「おたからマップ」を作成し、市内外へ情報発信した。(交流イベント参加者 見島地区15名、山田・木間地区15名、その他41名)

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない
 地域のおたから(文化遺産)をその地域に住む住人に再認識してもらい、活用していただくことの必要性を理解してもらう努力が必要。

状況を示す写真や資料等

○調査による地域おたからマップの作成

【平成25年度】

旧松本村地区、明木地区、佐々並地区、むつみ地区



【平成26年度】

堀内・平安古・城下町地区、土原地区、川上地域、福栄地域



【平成27年度】

川島・藍場川地区、笠山・越ヶ浜地区、須佐地域、田万川地域



【平成28年度】

椿地区、大島地区、大井地区、三見地区



【平成29年度】

江向地区、相島地区、浜崎地区



【平成30年度】

地区、見島地区、玉江地区、山田・木間地区



評価軸③-14
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	平成30年度
項目		現在の状況	
地域コミュニティ組織づくり事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成19年度～

支援事業名 萩市単独事業

計画に記載している内容 過疎高齢化の進展に伴い、広域的に自治機能を補完し合い、コミュニティの維持及び振興を図る仕組みづくりとして、学校区等を単位とした地域コミュニティ組織づくりを推進し、地域コミュニティの強化を図る。このことにより、各地域に古くから伝わる伝統芸能や伝統行事の継承、自然景観や歴史的景観の保全等が期待でき、もって歴史的風致の維持及び向上を図ることができる。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

過疎化や少子高齢化により、地域の祭礼や草刈等の集落活動が徐々に困難となっている中で、地域の特色を活かした地域づくりを推進するために、「魅力ある地域づくり交付金制度」を創設し、集落や既存の団体の垣根を越えて地域全体で補い合うことができる新たな地域コミュニティづくりを推進している。

平成30年度交付実績

- ・交付地域 6地域(川上、むつみ、旭、福栄、須佐、田万川地域)
- ・交付金額 32,734千円

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

○魅力ある地域づくり交付金の活用例



【須佐地域】

須佐地域生涯学習発表会
・子どもから高齢者までの幅広い世代が日頃の生涯学習や文化活動の成果を披露



【福栄地域】

福栄ふるさとまつり開催事業
・平蕨地区芸能保存会による神楽舞
・大板山たたら太鼓同好会、福栄小中学校有志、福川保育園児、紫福保育園児による和太鼓演奏



【旭地域】

明木地区農業文化祭
・明木小学校児童による演技、合唱等の披露

評価軸④-1

文化財の保存又は活用に関する事項

項目	評価対象年度
	平成30年度 現在の状況
①文化財の修理(整備を含む) ②文化財の保存 ③文化財の周辺環境の保全 ④埋蔵文化財の調査	■実施済 ■実施中 □未着手

計画に記載している内容
 文化財の修理については、それを構成する部材細部に特に注意し、破損が進んで部材を大きく取り替えることがないように所有者が日常的な手入れを怠らないよう定期的な清掃・点検や関係機関への連絡等の管理体制を確立する。保存管理計画を策定している文化財については、基本方針等に従って適正な保存管理を行っており、今後も計画に基づき保存管理を進めていく。保存管理計画を定めていない指定文化財については、文化財保護法等に基づき、現状変更及び保存に影響を及ぼす行為に対して、個別案件ごとに本質的価値を保全するために許可制による行為の規制を行っている。文化財周辺の環境保全については、都市計画法及び建築基準法に基づく萩市都市計画の用途地域と景観法に基づく景観計画の重点景観計画区域の設定や歴史的景観保存地区等の緩衝地帯を設け、周辺環境の保存に努める。埋蔵文化財の包蔵地に関しては常に現況を把握するとともに、開発等に当たっては事前に協議を行うよう指導し、できる限り包蔵地を回避するなどの措置を講じ保護に努める。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

文化財の修理・保存については、文化財保護指導員と協力し、定期的に各地域の文化財を巡視するとともに維持補修等を適切に実施しつつ、長期的な計画に基づき各年度ごとに定めた保存修理事業や発掘調査を実施している。平成30年度からは、平成28・29年度に策定した萩反射炉をはじめとした世界文化遺産に係る「修復・公開活用計画」に基づき、関連する遺跡等について整備を進めている。また、その他の文化財についても、随時、修復に努めるとともに、未指定文化財の調査なども定期的に進めている。

【平成30年度主要事業】

- ・富川家住宅保存修理事業(継続)
 仲間部屋の軸部の補修、屋根の葺替、土壁の塗替え、建具等の工事及び、表門・塀の解体修理を実施。(期間:平成29年度～平成30年度)
- ・伝統的建造物群保存地区内の伝統的建造物等の修理・修景 5件
 民間が所有する土塀、門、物見矢倉及び店舗の保存修理等を実施。
- ・文化財の適正な保存と活用方法の基本設計
 史跡大板山たたら製鉄遺跡整備基本設計
- ・埋蔵文化財の調査
 史跡地及び周知の埋蔵文化財の調査を随時実施し、埋蔵文化財の適切な記録及び保存を実施。
 恵美須ヶ鼻造船所跡発掘調査

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	未指定文化財等の総合的な把握及び文化財指定、整備を計画的に行う必要がある。
--	---------------------------------------

状況を示す写真や資料等



史跡を構成する建造物の保存修理
 (国指定史跡萩城下町(富川家住宅))



伝統的建造物(物見矢倉)の保存修理
 (堀内伝建地区)



伝統的建造物(土塀)の保存修理
 (堀内伝建地区)



埋蔵文化財の発掘調査
 (国指定史跡恵美須ヶ鼻造船所跡)



評価軸④-2

文化財の保存又は活用に関する事項

項目	評価対象年度	平成30年度
	現在の状況	
①文化財の普及・啓発 ②文化財の防災・防犯	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

計画に記載している内容
 萩市は、文化財を大切に保存・活用し、萩にしかない宝物を次世代に確実に伝えることを宣言した萩まちじゅう博物館条例を平成16年に制定した。「文化財保護強調週間」には、文化財に親しんでもらうことを目的とした文化財の公開や史跡めぐりなどの行事を実施しており、「文化財防火デー」には、消防署、文化財所有者等の協力を得て防火訓練などの文化財防火運動を展開している。また、このような行事のほかに保存修理工事の際は、できる限り現場見学会や住民参加型のイベントを実施し、さらには広報紙等を活用して文化財情報を市民に発信するなど文化財の保存及び活用の普及・啓発を図っている。市所有の文化財施設の大部分については、機械警備を設置し防犯に努めている。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

平成27年7月に萩反射炉をはじめとする萩市の5資産を含む「明治日本の産業革命遺産 製鉄・鉄鋼、造船、石炭産業」が世界文化遺産に登録された。これに伴い、世界文化遺産関連資産については、広く普及・啓発が行なわれ、ガイド活動も盛んに展開されている。また、萩藩校明倫館内にある旧明倫小学校も「萩・明倫学舎」として学ぶ観光の新たな起点施設として整備され、官民連携の下その活用に取り組んでおり、多くの来訪者を迎えている。その他の文化財については、文化財保護指導員や地域住民と協力し、セミナーや見学会等の機会を捉えて各地域の文化財の普及・啓発に努めている。さらに、未指定文化財の調査などを進めるとともに、まちじゅうに広がる文化遺産の調査・記録・認定の事業を継続し、萩全域での文化遺産の再発見と保全に務めている。

【平成30年度主要事業】

- ・世界文化遺産「明治日本の産業革命遺産」に係る普及・啓発
 世界文化遺産登録3周年と明治維新改元150年を記念して、構成資産の一つである「大板山たたら製鉄遺跡」の理解増進に資するため、「復活！長州藩の鉄づくり～萩・大板山たたら祭り～」を開催した。(平成30年11月10日～11日)
- ・文化財の修理見学会
 国指定史跡萩城城下町を構成する建造物である富川家住宅保存修理現場の一般見学会を開催した。(平成30年6月9日)
- ・世界文化遺産関連資産の埋蔵文化財調査現地見学会
 国指定史跡恵美須ヶ鼻造船所跡の理解増進を図るため発掘調査現場の一般見学会を開催した。(平成30年10月13日)
- ・文化財の維持管理
 伝統的建造物群保存地区(堀内地区、平安古地区、浜崎、佐々並市)の町内会や保存団体等により、地区内の清掃を年間を通じて実施した。
- ・文化財保存団体の研修
 伝統的建造物群保存地区内の保存団体等の代表者4名が全国伝統的建造物群保存地区協議会住民研修会(大分県日田市)に参加した。(平成30年5月30日～平成30年6月1日)
- ・文化財の利活用
 佐々並市伝統的建造物群保存地区内に旧小林家住宅(萩往還おもてなし茶屋)を運営。地元団体の萩往還佐々並どうしんてやろう会が管理・運営し、1周年イベントや模擬結婚式のイベントを実施。
- ・文化財の普及啓発
 世界文化遺産「明治日本の産業革命遺産」に係る萩の産業遺産群を対象とした絵画募集・フォトコンテストを実施した。
- ・文化遺産(おたから)の調査、認定、公開
 萩まちじゅう博物館に点在するおたから(文化遺産)を調査し、後世に継承すべきおたからとして認定するとともに、これらをデータベース化して公開する事業に市民とともに取り組んだ。

進捗状況 ※計画年度との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

■計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない
 来訪者が増加したことに伴い、保護の観点から定期的なモニタリング等に基づく各構成資産の適切な管理と保存が必要である。

状況を示す写真や資料等



文化財の修理見学会
 【富川家住宅(国史跡の構成建造物)】
 平成30年6月9日(土)(45人)



埋蔵文化財調査の現地見学会
 【恵美須ヶ鼻造船所跡(国史跡)】
 平成30年10月13日(土)(20人)



萩まちじゅう博物館文化遺産活用事業
 【見島、玉江、山田、木間の4地区】
 平成30年5月1日(火)～平成31年3月23日(土)
 萩のまちじゅうに広がる文化遺産の調査・記録・認定・公開を行う事業



世界文化遺産の啓発・普及
 【大板山たたら製鉄遺跡】
 「復活！長州藩の鉄づくり～萩・大板山たたら祭り～」
 平成30年11月10日(土)～11日(日)(3,900人)



文化財の利活用
 【佐々並市伝統的建造物群保存地区】
 旧小林家住宅(萩往還おもてなし茶屋)
 開館1周年イベント
 平成30年4月15日(日)(300人)



文化財の利活用
 【佐々並市伝統的建造物群保存地区】
 明治維新150年記念 宿場町で維新の志士の模擬結婚式プロジェクト
 旧小林家住宅(萩往還おもてなし茶屋)
 平成30年11月25日(日)(300人)

※()は集客数

評価軸④-3

文化財の保存又は活用に関する事項

項目	評価対象年度	平成30年度
		現在の状況
①文化財施設等の活用		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

計画に記載している内容 市内全域には国指定文化財、県指定文化財及び市指定文化財として名勝及び天然記念物を除く総数が167件にのぼり、そのほとんどは歴史観光を基軸とする萩観光の資源であることから、標識や解説板などを整備し、市民をはじめ観光客に一般公開している。特に、内部を公開している文化財については、関連する史料の展示や年中無休のボランティアガイドによる案内、解説を行うとともに、四季を通して催し物を開催している。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

文化財の活用については、NPO萩観光ガイド協会や各まちづくり団体、実行委員会等と連携し、史跡や文化財建造物・歴史的風致形成建造物の一般公開を進めるとともに、各催事等の舞台として積極的な活用を図った。また、伝統行事や萩焼などの伝統的工芸品についても、活動支援や普及啓発に繋がる事業を行った。

主な事業等
 【平成30年度】
 萩城跡等ライトアップ、萩焼まつり、萩・大茶会、須佐湾遊覧船、萩往還まつり「技・明木展」、萩・夏みかんまつり、萩オープンガーデン、浜崎伝建おたから博物館、おしくらごう、萩夏まつり、萩・万灯会、着物ウィークin萩プレミアム、萩・竹灯路物語プレミアム、秋の萩焼まつり、萩時代まつり、萩往還佐々並おいでん祭、萩ものしり博士検定、萩城下町マラソン、萩城下の古き雑たち、萩・椿まつり、萩・幕末維新検定、萩往還ワンデーウォーク2018、城下町萩・堀内散策

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	

平成30年度 文化財施設等活用イベント

		
<p>文化財施設ライトアップ 【萩駅舎(登録有形文化財)】 通年:日没~22:00 萩城跡、萩駅舎等のライトアップイベント</p>	<p>萩往還まつり「技・明木展」 【萩往還(史跡)】 平成30年5月3日(祝・木)・4日(祝・金) 萩往還沿いの明木地区の町並みを活用したイベント (10,000人)</p>	<p>萩・夏みかんまつり 【萩市平安古地区重要伝統的建造物群保存地区ほか】 平成30年5月12日(土)・13日(日) 夏みかんの花の香りとともに萩の町並みや夏みかん製品を広くPRするイベント (4,964人)</p>
		
<p>須佐湾遊覧船 【須佐湾(名勝及び天然記念物)】 平成30年4月29日(祝・日)~10月31日(水) 名勝である須佐湾を広くPRするため運航 (1,180人)</p>	<p>萩オープンガーデン 【菊屋家住宅(重要文化財)、口羽家住宅(重要文化財)、旧湯川家屋敷(市指定史跡)、渡辺蒿蔵旧宅ほか全25施設】 平成30年5月12日(土)~5月20日(日) 文化財施設や民間住宅のお庭巡りを楽しんでいただくイベント (4,000人)</p>	<p>着物ウィークin萩プレミアム 【萩城城下町(史跡)ほか】 平成30年10月1日(月)~21日(日) 和の装いで、江戸時代の趣を残す萩の町並みを楽しんでいただくイベント (8,700人) ※()は集客数</p>

状況を示す写真や資料等



萩・竹灯路物語
【萩城城下町(史跡)ほか】
平成30年10月5日(金)～7日(日)
竹灯籠の灯りで、城下町を照らし夜の町並みの魅力をPRするイベント (1,929人)



秋の萩焼まつり
平成30年10月5日(金)～8日(祝・月)
伝統的工芸品である萩焼を広く普及させるためのイベント (8,700人)



萩往還佐々並おいでん祭
【萩市佐々並市重要伝統的建造物群保存地区】
平成30年11月18日(日)
佐々並市の町なみ散策とともに特産品をPRするイベント(2,800人)



維新の里萩城下町マラソン
【萩城跡(史跡)、萩城城下町(史跡)ほか】
平成30年12月16日(日)
萩まちじゅう博物館を舞台に、全国から3,438人の申込みがあり、2,719人が完走した。



萩城下の古き雛たち
【菊屋家住宅(重要文化財)、口羽家住宅(重要文化財)ほか16施設】
平成31年2月3日(日)～4月3日(水)
萩市民が大切にしてきた雛人形を市内の文化財施設に飾りまち歩きを楽しんでいただくイベント (H30 53,776人)



萩・椿まつり
【笠山虎ヶ崎椿群生林(天然記念物)】
平成30年2月16日(土)～3月21日(木・祝)
椿の花の季節に、日本でも屈指の椿群生林を楽しんでいただくイベント
(H30 35,235人)



萩往還ワンデーウォーク2018
【萩往還(史跡)】
平成31年3月23日(土)
萩往還を歩き、維新の志士が往来した歴史ある街道を楽しむスポーツイベント
(1,230人)



城下町萩・堀内散策
【堀内地区】
平成30年5月3日(木・祝)
堀内の各所で地区住民の皆さんがガイドを行うまち歩きイベント
(214人)

※()は集客数

萩城下町で和服散策を飲食店割引など特典 着物ウィーク	H30.10.11	西日本新聞
萩の「食」芸能人がトーク	H30.10.11	読売新聞
萩城下町・着物&車フェスティバル2018 Cisass Car Festival in萩	H30.10.12	中国新聞
萩城下町で着物姿 SNS呼びかけで100人	H30.10.15	読売新聞
聞く味わう偉人の食 俳優らトーク+萩の食材	H30.10.17	山口新聞
「萩食談」芸能人トークショー	H30.10.18	山口新聞
着物姿130人 萩城下町をジャック	H30.10.19	朝日新聞
漫画「長州ファイブ」完成	H30.10.19	読売新聞
萩市で記念式典	H30.10.19	読売新聞
維新胎動の地 志士思い祝う 萩で記念式典	H30.10.24	朝日新聞
志士の子孫ら節目祝う 萩で記念式典 功績など紹介	H30.10.24	読売新聞
「明治」改元150年萩で式典	H30.10.24	毎日新聞
明治改元150年節目祝う 萩で千人、記念式典	H30.10.24	山口新聞
シリーズ最終回「長州ファイブ」フレーム切手発売	H30.10.24	山口新聞
漫画「長州ファイブ」刊行	H30.10.25	毎日新聞
目標と語学の大切さを説く ノーベル賞山中教授が萩で講演	H30.10.25	山口新聞
オリジナル切手も 5人の肖像などデザイン(長州ファイブ)	H30.10.25	毎日新聞
ビジョンと英語力のススメ ノーベル賞・山中教授萩で講演	H30.10.26	朝日新聞
長州ファイブ展が開幕 萩博物館 初公開の伊藤書簡など	H30.10.28	読売新聞
2885人の顔写真で「長州ファイブ」 長州ファイブのモザイクアート	H30.11.1	読売新聞
長州ファイブ漫画で登場	H30.11.2	朝日新聞
オリジナル切手 拡張現実機能も	H30.11.2	朝日新聞
黒い隊服姿 萩の城下町パレード	H30.11.14	朝日新聞
「萩・明倫学舎」来場50万人	H30.11.16	朝日新聞
萩・明倫学舎50万人	H30.11.16	毎日新聞
萩・明倫学舎50万人達成	H30.11.17	朝日新聞
萩・明倫学舎入館50万人	H30.11.17	読売新聞
長州ファイブ志に触れて 萩博物館で特別展、手紙や絵画72点	H30.11.21	山口新聞
長州藩志士の子孫4人萩訪問 特別展など見学	H30.11.23	読売新聞
花嫁道中や地藏婚 萩・佐々並で25日再現イベント	H30.11.23	山口新聞
萩・宿場町で“地藏婚” 維新150年記念 地域住民ら300人を魅了	H30.11.27	山口新聞
新刊は「伊藤博文」「下関戦争」 萩ものがたりシリーズ	H31.1.16	朝日新聞
「萩ものがたり」59、60号刊行	H31.1.23	読売新聞
長州砲1/3ミニチュア製造に成功	H31.1.28	朝日新聞
「長州砲」復元3分の1サイズ	H31.2.1	読売新聞
萩・魅力大使ら京都巡る	H31.3.1	読売新聞
維新体験VR設備 萩・明倫学舎	H31.3.3	山口新聞
開館2周年観光施設 明倫学舎	H31.3.11	毎日新聞
「BAKUMATSU」×萩市コラボレーション企画	H31.3.15	中国新聞
維新150年記念 松の苗木植樹	H31.3.15	読売新聞
萩市・アニメ「BAKUMATSU」コラボイベント	H31.3.16	山口新聞

【その他計画に関連する記事】		
暮らしやすさへまちづくり協定	H30.4.4	朝日新聞
萩に春告ぐ「流し雛」	H30.4.4	毎日新聞
願い込め 流しびな	H30.4.4	山口新聞
無病息災を願い 流し雛	H30.4.6	朝日新聞
萩・大照院で落慶法要	H30.4.8	読売新聞
萩にクルーズ船、豪などから81人 城下町、東光寺など観光	H30.4.12	山口新聞
萩往還おもてなし茶屋1周年イベント	H30.4.13	山口新聞
毎日書道展会員 金重さん作品展	H30.4.22	毎日新聞
「萩焼まつり」始まる	H30.5.2	毎日新聞
萩焼 2万点並ぶ祭典	H30.5.2	朝日新聞
萩焼まつりにぎわう	H30.5.2	読売新聞
萩焼まつり開幕	H30.5.2	山口新聞
萩往還まつり始まる	H30.5.4	読売新聞
萩往還マラソン30回で幕	H30.5.5	朝日新聞
志士の気分で萩往還	H30.5.5	中国新聞
伝統のお点前 堪能 萩で大茶会 4流派が接待	H30.5.5	読売新聞
夏ミカン開花	H30.5.8	読売新聞
萩の夏ミカン開花宣言	H30.5.8	山口新聞
夏ミカン 開花宣言	H30.5.9	毎日新聞
萩ものがたりが刊行 「明治維新の変革課程」井上勝」	H30.5.12	山口新聞
個人宅や史跡の庭 開放 萩オープンガーデン 25か所で実施	H30.5.14	読売新聞
萩の有名庭園楽しんで 萩オープンガーデン	H30.5.15	毎日新聞
シロウオ産卵調査 萩・松本川	H30.5.16	山口新聞
シロウオ産卵状況を調査	H30.5.18	毎日新聞
古地図片手にまちを歩こう 萩市・萩城下町地区	H30.5.20	山口新聞
奇兵隊パレードや旧家の民具を披露 萩・浜崎地区 浜崎伝建おたから博物館	H30.5.22	朝日新聞
至誠館大学に松陰研究所	H30.5.24	毎日新聞
吉田松陰研究所 至誠館大学に設置	H30.5.24	読売新聞
至誠館大学に松陰研究所	H30.5.24	山口新聞
吉田松陰関連資料データベース化へ 至誠館大学が「研究所」	H30.5.25	朝日新聞
萩の町の秘密を解き明かす ブラタモリ NHK総合	H30.5.26	山口新聞
県立大に「地域デザイン研」伝統工芸盛り上げに一役	H30.6.1	朝日新聞
萩の和船大競漕～おしくらごう～	H30.6.1	読売新聞
古地図を片手にまちを歩こう 萩市・堀内地区	H30.6.3	山口新聞
力の限り突き進め～！ 萩「おしくらごう」	H30.6.4	山口新聞
「おしくらごう」和船が速さ競う	H30.6.4	毎日新聞
「昔の人ってすごいな～」 山口市の小学生が「萩往還」歩く	H30.6.10	山口新聞
萩・大井公民館 大井の歴史ずらり 地域学習室オープン	H30.6.12	山口新聞
クルーズ船の寄港73回 山口県内17年 外国船好調で最多	H30.6.2	中国新聞
「にっぽん丸」萩に寄港 歴史の待ち400人が散策	H30.6.15	山口新聞
萩城下町マラソン来月10日から募集	H30.6.16	朝日新聞
古地図を片手にまちを歩こう 萩市・浜崎地区	H30.6.17	山口新聞
萩博物館で「深海魚大行進」展”日本唯一”リュウグウノツカイ標本も	H30.6.30	山口新聞
古地図を片手にまちを歩こう 萩市・須佐地区	H30.7.1	山口新聞
夏ミカンで萩まちおこし NPO、至誠館大に苗木寄贈	H30.7.13	朝日新聞
萩博物館「深海魚展」1万人	H30.7.16	山口新聞
ハマる 深海魚の世界 連日盛況 萩博物館で標本・剥製3000点展示	H30.7.18	朝日新聞
赤間関中道筋って 連絡協議会がガイドマップ	H30.7.18	山口新聞
「深海魚展」1万人突破 萩博物館	H30.7.24	西日本新聞
萩市観光協会を登録 観光庁の日本版DMO、県内2例目	H30.8.1	山口新聞
電気自動車貸し出し開始 萩市観光協会、移動手段充実へ	H30.8.2	山口新聞
「深海魚大行進」展2万人	H30.8.4	読売新聞
中道筋案内マップ作成 萩一下関結んだ「赤間関街道」	H30.8.8	毎日新聞
歴史詰まった木造校舎 萩・明倫学舎	H30.8.10	朝日新聞
ギョギョ！新種の超深海魚 萩博物館今日から標本展示	H30.8.12	朝日新聞
萩・明倫学舎 夏の課外授業「怖い話」	H30.8.16	山口新聞
萩・明倫学舎 夏の課外授業「怖い話」	H30.8.16	毎日新聞
エレキテル体験小学生らに人気 萩・明倫学舎	H30.8.18	読売新聞
1人乗りEV、貸し出します 萩しーまーと、観光客向け	H30.8.31	山口新聞

吉賀大眉の茶わんなど 萩市所蔵の作品特別展60点	H30.9.5	山口新聞
古地図で萩のまち歩きを 市観光協会がガイドブック発行	H30.9.26	山口新聞
竹灯籠が照らす萩城下	H30.9.28	読売新聞
あすから萩・田町萩焼まつり	H30.10.4	山口新聞
萩・竹灯路物語	H30.10.4	毎日新聞
萩ものしり博士 12月2日に最後の検定	H30.10.5	毎日新聞
様々な萩焼1万展	H30.10.6	読売新聞
1万展を品定め 萩焼まつり始まる	H30.10.6	毎日新聞
田町萩焼まつり開幕	H30.10.6	山口新聞
萩まちじゅう博物館 幕末息づく町並み散策	H30.10.18	朝日新聞
萩市観光協会 着物フォトコン	H30.10.30	山口新聞
萩ふるさとまつり・萩時代まつり	H30.11.2	読売新聞
萩の時代絵巻 お楽しみ	H30.11.8	朝日新聞
萩時代まつり	H30.11.8	山口新聞
Qちゃん陸上への思い 萩で15日トークショー	H30.12.14	朝日新聞
Qちゃん流走り伝授	H30.12.16	朝日新聞
冬の萩3438人熱くエンジョイ 萩城下町マラソン	H30.12.17	朝日新聞
2800人駆け抜ける 維新の里萩城下町マラソン	H30.12.18	山口新聞
シロウオ豊漁願って 萩の松本川産卵場作り	H31.1.17	山口新聞
シロウオ産卵備え投石	H31.1.17	読売新聞
シロウオ産卵場所確保へ	H31.1.17	毎日新聞
シロウオ漁へ産卵場を整備	H31.1.24	朝日新聞
ひな人形1200体展示へ「萩城下の古き雛たち」	H31.1.30	読売新聞
「萩城下の古き雛たち」1200体ずらり	H31.1.31	山口新聞
「古き雛」1200体楽しんで	H31.2.2	毎日新聞
シロウオ豊漁祈願	H31.2.17	毎日新聞
シロウオ漁春告げる	H31.2.22	読売新聞
シロウオ大漁願い 萩の松本川で四手網漁始まる	H31.2.22	山口新聞
春の訪れ告げるシロウオ漁	H31.2.22	毎日新聞
ひな人形1200体萩彩る	H31.3.5	西日本新聞
萩のおたから どうかつよう 19日にワークショップ	H31.3.13	山口新聞
ジオパーク展示今日から開幕 萩博物館	H31.3.16	読売新聞

歴史的風致維持向上計画の着実な推進などにより、全国に先駆けて歴史的な景観や貴重な遺産を大切に保存してきた大きな成果として、平成27年7月に市内5つの構成資産を含む「明治日本の産業革命遺産 製鉄・製鋼、造船、石炭産業」が、世界文化遺産に登録されたことや平成30年の明治維新150年に向けた記念事業の関連情報が報道された。また、平成29年3月にオープンした「萩・明倫学舎」は、藩校明倫館跡地にある旧明倫小学校校舎棟を整備・活用していることから、全国的な話題となった。このほか計画に記載している各種イベントや市内でロケのあったテレビ番組が全国に配信され、萩の歴史文化や町並み、また、これらを活用した各種取組の周知が図られた。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施にあたっての課題(自由記述)
<input type="checkbox"/> 計画の進捗に影響あり <input checked="" type="checkbox"/> 計画の進捗に影響なし	各事業の報道を行ってもらうために、各メディアに対する細かな情報提供や萩らしい特色ある事業の実施が重要である。

評価軸⑥

その他(効果等)

評価対象年度

30年度

項目

萩市歴史的風致維持向上計画(全体)

計画に記載している内容

萩市では、市内に豊富に遺存する文化遺産を将来にわたって確実に継承していくため、文化財保護に努めるとともに、歴史的景観の保存に取り組んでいる。
 本計画は、萩の豊かな歴史的風致の維持及び向上を図り、萩市におけるまちづくりの基本理念「市民自らが考え、主体的に取り組む市民本位のまちづくり」、「誇るべき歴史・文化・豊かな自然に調和し、新たな価値を創造する活力と魅力あるまちづくり」を実現するための計画のひとつとして位置づけ、策定にあたっては、関連する「萩市景観計画」及び「萩市都市計画マスタープラン」との整合性を図ることとする。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で。記事・議会議事録等を添付

萩市歴史的風致維持向上計画に基づき、一元化した実施体制を構築するとともに市民団体と協働により計画を推進している。

具体的には、①重点区域における良好な景観形成のための事業と②歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する各事業を進めたことにより、各イベント参加者数、萩市全体の観光客数が高水準を維持しており、観光振興並びに地域経済の活性化への効果があった。

また、2015年7月に世界遺産へ登録された「明治日本の産業革命遺産」に、萩市の5資産が含まれるなど、これまでの取組みの成果が現れている。

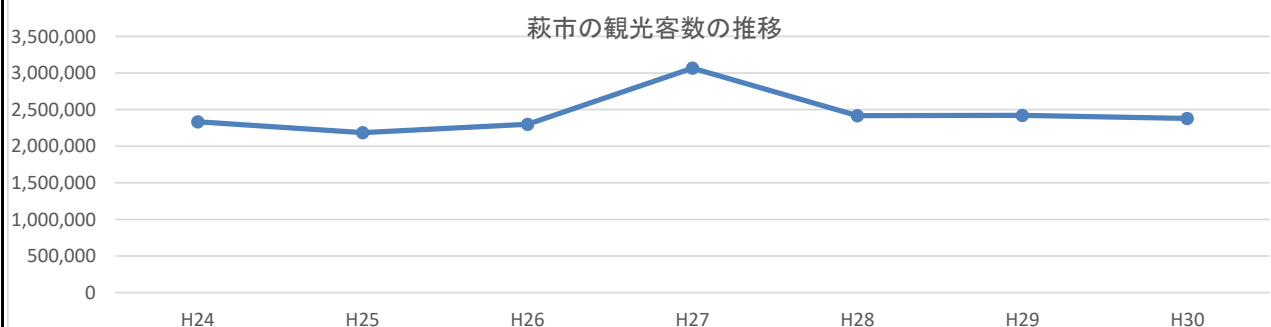
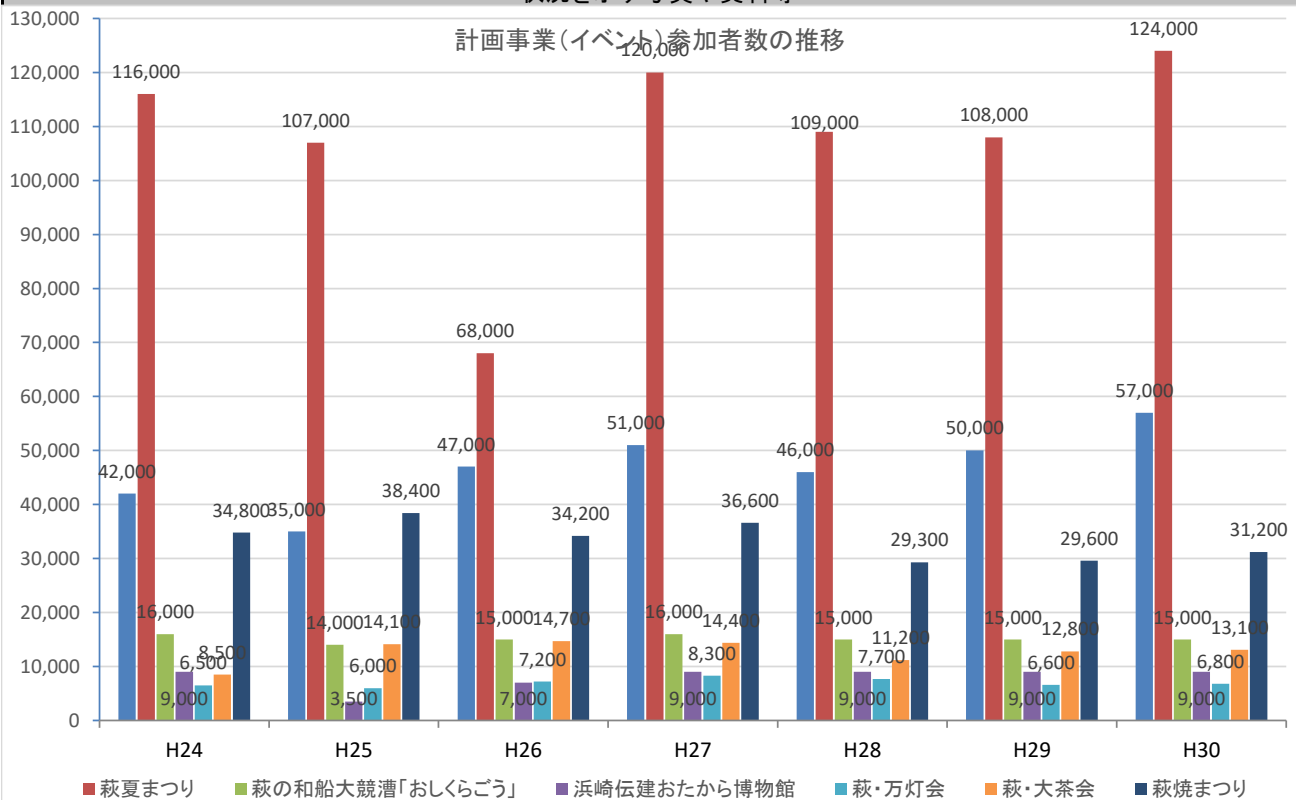
進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

□計画の進捗に影響あり

■計画の進捗に影響なし

状況を示す写真や資料等



法定協議会等におけるコメント

(様式2)

評価対象年度	平成30年度
・法定協議会等におけるコメント	
コメントが出された会議等の名称:萩市歴史的風致維持向上計画協議会	
会議等の開催日時:平成30年11月8日	
(コメントの概要)	
協議会議事	
(1) 萩市歴史的風致維持向上計画(第2期)(案)について ⇒担当者より計画(案)についての概要説明	
(2) 今後のスケジュールについて ⇒担当者より策定スケジュールを説明	
(3)その他	
コメント等	
文化財の維持管理に係る費用負担の問題について	
(今後の対応)	
萩市歴史的風致維持向上計画は、平成30年度までとなっており、計画期間内の事業のみを記載している。平成30年度は、既存計画を推進するとともに第2期萩市歴史的風致維持向上計画の策定を進め、31年度以降も継続して歴史的風致の維持向上に努めていく。	